

令和 8 年度学生生活調査 調査案内

～学生の皆様へ（回答へのご協力のお願い）～

「学生生活調査」は、日本学生支援機構が 2 年に 1 回実施している学生の皆さんの状況を把握するための調査です。調査結果は、一般に公開されるとともに文部科学省に提供され、学生支援の施策立案等に活用されます。

あなたは無作為に選ばれた貴重な回答者の一人です。

選ばれた方一人ひとりが回答することで、調査結果に偏りがなくなり、実態をより正確に把握することができます。

あなたの回答が学生支援の充実につながりますので、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

独立行政法人日本学生支援機構

【あわせてお読みください】

- ・本調査は、奨学金を受給しているかどうかに関係なく、幅広く、回答への協力をお願いするものです。
- ・本調査は匿名調査です。また、回答は、直接日本学生支援機構に送信され、学校が内容を知ることはありません。
- ・学生生活に関する調査研究を目的として、大学等の研究者に調査結果データを提供することがありますが、提供するデータから個人が特定されることはありません。

これまでの調査結果は、こちらからご覧ください https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/

オンライン回答

回答はオンラインで行います。

以下の URL 又は二次元コードから、調査回答ページにアクセスしてください。

■ 回答をスムーズにおこなうためには ■

この調査の設問は 24 問です。

このうち、「学費・生活費」、「収入」、「家庭の年間収入総額」については、1 年間のおよその額を尋ねますので、3 ページ以降の「2. 金額の下書き」を活用いただくとスムーズに回答できます。（約 15 分で回答できます）

【重要】この調査は学校を通じて依頼された人だけが回答するものです。

調査回答ページの URL や二次元コードを、SNS やメールなどで絶対に拡散しないでください。

推奨	スマートフォン	iPhone Safari 最新版	Android Google Chrome 最新版
ブラウザ	PC	Windows Microsoft Edge 最新版、Google Chrome 最新版	Mac Safari 最新版

回答期間

令和 8 年 11 月 2 日（月）～ 12 月 21 日（月）まで

■ 回答の中断・再開について ■

回答を一時停止したい場合は、各画面下の「回答を中断する」をクリックしてください。または、ブラウザを閉じても構いません。入力した情報は、使用端末（スマホや PC）に保存されます。

同じ端末で、再度、回答ページにアクセスすると、「回答を再開する」というボタンが表示されますので、これをクリックして再開してください。

※中断前とは違う端末からアクセスした場合は、初めからやり直しになります。

1. 調査項目一覧（全 24 問）

Ⅰ. あなた自身について・・・あなた自身に関する基本的な情報をお聞きます		
1 年齢	2 性別	3 現在の居住形態
4 学部・学科	5 現在の学年	6 学校の所在地
7 片道の通学時間	8 入学前の居住地	9 現在の居住地
Ⅱ. 学生生活の状況について・・・あなたの学生生活の状況についてお聞きます		
10 1 週間の中で様々な活動に充てた時間 授業/予習・復習等/卒業論文/大学以外での学習/部活・サークル/アルバイト/就職活動/娯楽・交友		
11 大学の施設や学生支援への満足度 図書館等の学習施設/就職・進路の支援/学習・生活面のカウンセリング/奨学金等の経済支援の情報提供		
12 学生生活の不安や悩み 授業/卒業後のやりたいこと/就職先・進学先/経済的なこと/友人関係		
Ⅲ. あなた自身の経済状況について・・・あなた自身の経済状況（学生生活にかかる収入・支出の状況）についてお聞きます		
13 あなた自身の 1 年間の学費・生活費について (1) 学費		
1)-1 今年度の授業料（大学が定める額）はいくらですか		下書きあり
1)-2 今年度、授業料の減免を受けていますか		
1)-2-1 減免された額はいくらですか		下書きあり
2) その他の学校納付金（今年度分）はいくらですか		下書きあり
3) 授業料及びその他の学校納付金は誰が払いましたか		
4) 学習準備費 5) 課外活動費 6) 通学費		下書きあり
(2) 生活費【食費/住居・光熱費/理美容・医療費/娯楽・嗜好費/通信費/その他の日常費/貯蓄額】		下書きあり
14 家庭からの支援の状況について		
14-1 家庭からの支援のみで修学可能ですか		
14-2 最近 1 年間で家庭から受けた支援の額はいくらですか		下書きあり
15 最近 1 年間で①高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・日本学生支援機構の給付奨学金）による支援を受けましたか		
15-1 あなたが受けた修学支援新制度による支援に該当するものを選択してください		
15-1-1 あなたは修学支援新制度で拡充された「多子世帯（兄弟が 3 人以上で一定の基準を満たす世帯）に属している学生等」に該当しますか		
15-1-2 最近 1 年間で受給した日本学生支援機構の給付奨学金の金額を記入してください		下書きあり
15-2 高等教育の就学支援新制度（授業料等減免・日本学生支援機構の給付奨学金）による支援を受けていない方は、あてはまるものを選択してください		
15-2-1 「申請しなかった」理由を選択してください		
16 最近 1 年間で②日本学生支援機構の貸与奨学金（要返還）を受けましたか		
16-1 最近 1 年間で受給した貸与奨学金の金額を入力してください		下書きあり
16-2 日本学生支援機構の貸与奨学金を受けていない方は、あてはまるものを選択してください		
16-2-1 「申請しなかった」理由を選択してください		
17 最近 1 年間で③日本学生支援機構以外の奨学金を受けましたか		
17-1 最近 1 年間に受給した奨学金の金額を入力してください		下書きあり
18 最近 1 年間にアルバイトをしましたか（授業期間中・長期休暇中）		
18-1 アルバイトの従事職種について主なものを 1 つ選択してください		
18-2 1 年間のアルバイト収入額を入力してください		下書きあり
18-3 アルバイト収入の使い道について主なものを 1 つ選択してください		
19 あなたは現在定職に就いていますか		
19-1 年間の定職によるあなたの収入額を入力してください		下書きあり
20 最近 1 年間のその他の収入を入力してください		下書きあり
Ⅳ. 家計の状況について・・・あなたの家庭の家計の状況についてお聞きます		
21 主な家計支持者は誰ですか		
22 主な家計支持者の年齢を選択してください		
23 主な家計支持者の職業を選択してください		
24 主な家計支持者の方を含め、あなたの家庭全員の最近 1 年間の収入総額を選択してください		下書きあり

2. 金額の下書き

設問Ⅲで、以下の項目について、最近 1 年間のおよその額をお尋ねしますので、事前に確認してください。

金額は、千の位を四捨五入して「万円」単位でお答えください。ただし、年額が 5,000 円未満になる場合は、切り上げて「1 万円」としてください。

設問	項目	金額	説明
(1)学費			
《支出》 1)-1	今年度の授業料	1 年分で 万円	大学が定める授業料
《支出》 1)-2-1	授業料の減免額	1 年分で 万円	授業料の減免を受けている場合、減免を受けた額
《支出》 2)	その他の学校納付金	1 年分で 万円	施設費、実験実習費、後援会費など ※入学金等の一時金は除く
ここから先は、 年額で記入する場合は、令和 7 年 12 月～令和 8 年 11 月の 1 年間の額となります。 令和 8 年度に入学した方は、令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月の 1 年間の見込み額となります。 なお、該当しない項目は、「0」と回答してください。			
《支出》 4)	学習準備費	1 年間で約 万円	教科書・参考図書・実習材料・文具類の購入費、 実習旅行費、実習のための保険料など
《支出》 5)	課外活動費	1 年間で約 万円	サークル活動や自治会活動など課外活動に支出した経費
《支出》 6)	通学費	1 年間で約 万円	通学に要する経費。定期代、自転車、バイクや自動車などのガソリン代、維持費など
(2)生活費			
《支出》 7)	食費	○月額で 万円 ○年額で	自宅に住んでいる場合は、外食費のみを回答してください。間食、酒などの嗜好品は「娯楽・嗜好費」に回答してください。
《支出》 8)	住居・光熱費	○月額で 万円 ○年額で	家賃（管理費、共益費など含む）、光熱水費、暖房費などの合計額。食事付きの寮等で食費が含まれる場合は、食費分を除いた額。 ※自宅通学者は回答不要
《支出》 9)	理美容・医療費	○月額で 万円 ○年額で	診療代・薬代・理容美容代・化粧品代・銭湯代など
《支出》 10)	娯楽・嗜好費	○月額で 万円 ○年額で	趣味、旅行、レクリエーション、酒、タバコ、間食代など
《支出》 11)	通信費	○月額で 万円 ○年額で	携帯電話、固定電話、インターネットの利用料金など
《支出》 12)	その他の日常費	○月額で 万円 ○年額で	衣服代、帰省のための交通費、社会保険料（年金等）など、他の項目に含まれない日常的な経費すべて。
《支出》 13)	貯蓄額	○月額で 万円 ○年額で	1 年間で貯蓄した額（増えた額）。残高ではありません。
【収入】 14-2	家庭からの受けた支援の額	○月額で 万円 ○年額で	家庭からの支援とは、就学のために親などから受けた授業料や仕送りなどを含めた金銭的援助のことです。
【収入】 15-1-2	日本学生支援機構の 給付奨学金	1 年間で約 万円	卒業後の返還が不要な奨学金
【収入】 16-1	日本学生支援機構の 貸与奨学金 （第一種・無利子）	1 年間で約 万円	卒業後の返還が必要な奨学金。 奨学金の金額は、機関保証料を含んだ年額で回答してください。 機関保証料は、スカラネット P S や奨学生証で確認できます。
	日本学生支援機構の 貸与奨学金 （第二種・有利子）	1 年間で約 万円	

【収入】 17-1	日本学生支援機構 以外の給付奨学金	○月額で ○年額で	万円	大学、地方公共団体、民間の奨学事業団体など から受けている奨学金・奨励金など
	日本学生支援機構 以外の貸与奨学金	○月額で ○年額で	万円	
【収入】 18-2	アルバイト収入額	○月額で ○年額で	万円	
【収入】 19-1	定職収入額	○月額で ○年額で	万円	定職とは臨時的（アルバイト等）ではない安定し た職業（会社員や自営業など）
【収入】 20	その他の収入	○月額で ○年額で	万円	貯蓄の取り崩し、借入れ、資産運用による利子 収入、配当収入、その他の臨時的な収入など、ほ かの項目に含まれない収入の総額。 該当する収入がない場合、「0」と回答してください。

24 主な家計支持者の方を含め、あなたの家庭全員の最近 1 年間の収入総額を選択してください。

学生の収入は除外します。ただし、「主な家計支持者」が学生の場合は、その方の収入を含めてください。

1 つを選択				
▼				
○0 円	○100 万円未満	○100-149 万円	○150-199 万円	
○200-249 万円	○250-299 万円	○300-349 万円	○350-399 万円	
○400-449 万円	○450-499 万円	○500-549 万円	○550-599 万円	
○600-699 万円	○700-799 万円	○800-899 万円	○900-999 万円	
○1000-1099 万円	○1100-1199 万円	○1200-1299 万円	○1300-1399 万円	
○1400-1499 万円	○1500 万円以上			

※1500 万円以上を選択した場合は、実際の金額を入力してください。

金額
万円

家庭全員の最近 1 年間の収入総額に含めるもの

項目	説明
事業所得	個人が経営する農業・漁業・製造業・卸売業・小売業・サービス業などから生ずる所得で、その年の総収入から事業経営に必要な経費を控除した額です。（農業、小売業などで生産品または商品を自家消費した場合は、時価に換算した見積額を所得に加算してください。）
給与収入	俸給、給料、賃金、歳費、賞与など、労務または役務の対価として受けた収入です。
資産収入	利子収入、配当収入、不動産収入など、資産から生ずる収入です。
その他の収入	恩給、年金、家庭の内職収入および世帯員以外の者からの経済的援助などの合計額です。（退職金、財産売却、相続などのため、臨時的に得た収入および借入金を含め ないでください。また、臨時的に得た給付金や助成金等も、含めないでください。）

3. 設問に出てくる用語の説明

3 現在の居住形態

用語	説明
自宅	親・家族と同居している場合
学生寮・寄宿舍	大学が設置する寮、大学の借り上げ宿舍、公益法人等が運営する寄宿舍など
下宿・アパート等	単身で居住する下宿、アパート、学生マンション、間借（親戚・知人宅を含む）など

13-1)-2 授業料の減免

用語	説明
授業料の減免	成績や経済状況等により、授業料の全部又は一部が免除される制度。一度支払った後に還付された場合も含む。 例）高等教育の修学支援新制度の授業料等減免、学校独自の授業料の免除制度

18-1 アルバイトの従事職種

用語	説明
塾講師・家庭教師など	塾・予備校講師、家庭教師、試験監督・採点など
事務	一般事務、データ入力、パソコン入力事務、コールセンターなど
販売	コンビニ・スーパー・デパート・量販店等での販売（レジ係を含む）、営業など
飲食業	調理、接客、デリバリーなど
販売・飲食業を除く軽労働	清掃、警備、包装、配布、新聞配達、製造、調査、イベントスタッフなど
重労働・危険作業	土木工事、重量物運搬、引越しスタッフ、倉庫整理、プレス作業、建築の現場作業、高所の屋外作業など
特殊技能	通訳、翻訳、製図、プログラミング、インストラクターなど
その他	上記の職種にあてはまらない職種

23 主な家計支持者の職業

用語	説明
勤労者（会社員、公務員等）	会社、商店、病院、学校、工場などや官公庁などに勤めている者
個人営業	個人または、個人組織で商業・工業・サービス業等に従事する者
法人経営・自由業	会社、団体などの役員、国・地方公共団体で役員に相当する者、議会議員もしくは、個人で自分の専門の技能や知識を内容とする仕事に従事する者
農林・水産業	独立して農作物の栽培・収穫、養蚕・家畜・家きん・その他の動物の飼育、林木の育成・伐採・搬出、水産動植物採取・養殖などの仕事に従事している者
その他	上記の分類にあてはまらない職業 または、年金生活者や、主婦・主夫、失業中など

4. 設問に関するQ & A

●設問 11 大学の施設や学生支援への満足度について

Q1 現在通っている学校に、質問項目にあるような施設やサービスが存在しない場合はどうすればよいですか。

⇒A1 存在しない場合は、「利用したことがない」を選択してください。

●設問 13

〈（１）学費授業料・その他学校納付金について〉

Q2 入学金や入学時に傷害保険や後援会費等を複数年分一括納入する場合については、どの項目に計上すればいいのでしょうか。

⇒A2 入学金など入学時のみ支払う費用については、回答不要です。

Q3 授業料をいったん払った後に、減免を受けられることが決まり、払った授業料（の一部）が戻ってきました。この場合、「減額された額」はどのように回答すればいいのでしょうか。

⇒A3 戻ってきた減免分の金額を回答してください。

Q4 授業料をいったん払った後に、減免を受けられることが決まりましたが、まだ払った授業料（の一部）が戻ってきていません。この場合、「減額された額」はどのように回答すればいいのでしょうか。

⇒A4 戻ってくる予定の減免分の金額を回答してください。

Q5 「授業料及びその他の学校納付金は誰が払いましたか」について、一部は自分で支払いましたが、残りを親（家族）以外の人に支払ってもらった場合は、どうすればよいですか。

⇒A5 「その他」を選択してください。

Q6 通学以外にかかったガソリン代はどの項目に入りますか。

⇒A6 「その他の日常費」に回答してください。通学と通学外に分けることができない場合は、通学の割合が高い場合は「通学費」に、通学以外の割合が高い場合は「その他の日常費」に、全額回答してください。

〈（２）生活費について〉

Q7 自宅に住んでいるため、自分の食費を家族の分から切り分けられません。どうすればよいですか。

⇒A7 自宅に住んでいる方は、昼食代などの外食費のみを食費として回答してください。

Q8 入寮費はどこに回答すればよいですか。

⇒A8 「住居・光熱費」に合算して回答してください。

Q9 現在の居住形態は「自宅」（親と同居）ですが、家賃や光熱費の一部を自分も負担しています。「住居・光熱費」が入力できないようですが、どうすればいいのでしょうか。

⇒A9 居住形態が「自宅」の場合、「住居・光熱費」は一律に回答不要としています。家賃等を負担している場合は、1年間の負担額を「その他の日常費」に含めて回答してください。

Q10 自宅に住んでいるため、携帯電話・固定電話・インターネット利用料金を家族の方から切り分けられません。どのように記入したらよいのでしょうか。

⇒A10 あなたの支出がない場合は、「0円」と記入してください。

Q11 自分自身が支払った社会保険料・税金・奨学金返済額など、回答欄に項目がない支出は、どの項目に回答すればよいですか。

⇒A11 「その他の日常費」に回答してください。

●設問 15・16 日本学生支援機構の奨学金について

Q12 日本学生支援機構の奨学金を受けていましたが、この 1 年の間に廃止（又は停止、休止）になりました。この場合は、どのように回答すればよいですか。

⇒A12 最近 1 年間のうち、ひと月でも受けた月があれば、「受けている」を選択してください。なお、金額については、毎月の給付額／貸与額に、給付／貸与を受けた期間（月数）を掛けた金額を入力してください。

Q13 「日本学生支援機構の貸与奨学金」は機関保証料を引かれた後の金額を回答するのですか。

⇒A13 いいえ。「日本学生支援機構の貸与奨学金」には機関保証料を含んだ年額を回答し、「最近 1 年間の生活費」の「その他の日常費」に、機関保証料の年額を支出額に回答してください。機関保証料は、スカラネット P S や奨学生証に書いてあります。

●設問 18 アルバイトについて

Q14 「アルバイトの従事職種」について、複数のアルバイトをしている場合、「主なもの」とはどのように判断すればよいですか。

⇒A14 1 週間あたりの従事時間が一番長いものを、目安として回答してください。

●大問Ⅳ 家計の状況について

Q15 父母ともに働いて家計を支持しています。「主な家計支持者」はどちらを選ばいいのでしょうか。

⇒A15 収入が多い方を「主な家計支持者」としてください。

Q16 「主な家計支持者の職業について」において、自分自身が主な家計支持者であり、アルバイトで生計を立てている場合、どの職業を選ばよいですか。

⇒A16 アルバイトの職種により該当する区分を回答してください。

Q17 1 年間の収入とは、給与明細（源泉徴収票）のどの金額を指しますか。

⇒A17 支払総額（年額）を指します。

Q18 最近 1 年間の家庭全員の収入総額には、自分の収入も含めるのでしょうか。

⇒A18 あなたを含めて、学生の方の収入は除外してください。ただし、あなた、もしくはあなた以外の学生の方（兄弟姉妹など）が、家庭の「主な家計支持者」である場合は、学生であっても、その収入を家庭の収入総額に含めてください。